



鹿田小だより



元気いっぱい 勉強こつこつ 親切ハートの
岡山市立鹿田小学校



令和3年度 第15号 11月19日

暦の上ではもう冬です。



11月7日は立冬でした。立冬というのは、二十四節気の一つで、立春、夏至、冬至などと同じく季節を表す言葉です。「冬の気配が立ち始める」ことを意味していますが、まだまだ冬が来たというには早いような気がします。それでも、11月中旬に適した時候の挨拶には「向寒の候」、「初霜の候」、「冷雨の候」などがあり、暦の上ではもう冬なのだなと感じさせられます。11月の年中行事に「七五三」があります。七五三の由来は平安時代にさかのぼります。現在に比べ医学が進んでおらず衛生面もよくなかった昔は、子どもが幼くして亡くなってしまうことがとても多かったそうです。そのため、子どもが無事に育つことは親にとって大きな喜びでした。そこで、3歳、5歳、7歳の節目に子どもの成長を神様に感謝し、お祝いをしたのが七五三の始まりとされています。（諸説あり）七五三は11月15日でしたが、11月中の神社は、きれいな服や着物を着た親子連れで賑わいますね。

1～5年の参観日

1～5年とひまわりは11月10日（水）と12日（金）に分けて参観日を行いました。今年度初めての参観日でした。



1年



4年



2年



5年



3年



ひまわり(10日のみ)

6年生の発表会

11月12日（金）に6年生の発表会を行いました。コロナの感染状況によっては実施できないかもしれませんが、子どもたちは1学期から練習を始め、2学期からも休み時間など少しの時間も無駄にせず、練習に励んできました。当日は、その成果をしっかりと発揮した素晴らしい発表会でした。

曲目は、合奏「Paradise Has NO BORDER」、合奏「365日のラバースコンチェルト」、合唱「COSMOS」の3曲でした。『卒業まで約4か月、「全力」「感謝」を胸に、一日一日を大切に過ごしていきます。』という終わりの言葉で締めくくりました。



外児童朝会

11月1日（月）実に2年ぶりとなる運動場での児童朝会を行いました。令和元年の10月7日に行って以来です。その時の話は「十人十色」。性格やものの考え方などは人によってそれぞれ違うというお話をし、金子みすゞさんの「私と小鳥と鈴と」の詩を読みました。あれから2年間、運動場に限らず、全校児童が集まって児童朝会をすることは一度もありませんでした。新型コロナウイルス感染症にはまだまだ油断はできませんが、少しずつ学校生活が元に戻ってきているということが実感できました。



2年 図書館見学

幸町図書館の見学に行きました。館内を見学したり、担当の方から説明を聞いたりしました。「全部で何冊の本がありますか。」「本はどんな順番で並んでいますか。」などの質問に丁寧に答えてくださいました。図書館の工夫がたくさんわかりました。



避難訓練をしました

11月4日今年度初めての避難訓練をしました。大きな地震の後、火災が発生して運動場へ避難するという設定でした。命を守るためには、火元がどこかをよく聞いて、火元から遠ざかるように避難することと、「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどらない」の『お・は・し・も』が大切です。



学校長のつぶやき ～ゼツメツキボウシュ～

ジャイアントパンダ、ライオン、アフリカゾウ、フタコブラクダ、カバ、ジュゴン、ゴリラ・・・これらの動物に共通することがわかりますか？実はすべて、「絶滅危惧種」です。絶滅危惧種というのは生息数が減少して絶滅する恐れのある動物などのことです。それとよく似た言葉で「絶滅希望種」というものがあるのをご存じですか？これは、児童書「カサウシろに振るやつ絶滅しろ！」（小学館）で、いなくなってほしい迷惑生物として紹介されています。例えば、傘の先を後ろに向けて振る「カサウシロフス」、行列を無視して割り込む「ナラバンゾウ」、人の話を聞かない「キキナカスクジラ」などです。動物が絶滅するのは困りますが、迷惑生物はいなくなしてほしいですね。子どもたちに、学校の絶滅希望種について聞いてみました。みなさんなら、どんな名前をつけますか？考えてみてください。「マスクをきちんとしない人」「そうじをまじめにしない人」「廊下を走る人」「給食時間にしゃべる人」など。確かに迷惑です。

書写の授業公開をしました。

11月17日に1年B組を会場に行いました。漢字の「止め、払い、はね」を水書筆（水で書く筆ペン）で練習した後、鉛筆でも同じように気をつけながら書くことができるかを友達と見せ合いました。「ぴた。すうっ。ぴん。」と言いながら一生懸命書きました。

